ユニット・リンク(有期型)
ユニット・リンク保険(有期型)

リバティ(終身型)/リバティ(有期型)
変額保険(終身型)/変額保険(有期型)

特別勘定の月次運用レポート
特別勘定の現況
2026 年 8 月度

＜目次＞

1. 特別勘定の種類 1 ページ
2. 運用環境の主な状況 2 ページ
3. 特別勘定の運用実績・状況 3-5 ページ
4. [参考情報]投資信託の運用実績・状況 6-18 ページ
5. 当保険商品のリスク・ご留意いただきたい事項 19 ページ

〈お知らせ〉
特別勘定の運用関係費の引下げおよび運用収益の向上を目的として、2026年9月以降に投資信託を以下の通り変更いたします。特別勘定の運用方針の変更はありません。
●特別勘定：日本株式積極運用型
投資信託：「フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3（適格機関投資家専用）」および「ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド（適格機関投資家専用）」から「ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド（適格機関投資家専用）」のみへ変更
●特別勘定：世界株式型（為替ヘッジあり）
投資信託：「ラッセル・インベストメント外国株式ファンドI-4A（為替ヘッジあり）（適格機関投資家限定）」および「インデックスファンド海外株式（ヘッジあり）」から「アクサ・グローバル・エクイティ・セレクション（円ヘッジ型）」へ変更

[引受保険会社]
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
平日 9:00～18:00 / 土 9:00～17:00
(日・祝日、12月30日～1月4日を除く)
www.axa.co.jp

■ 当資料は、特別勘定の運用実績等をご契約者さまへお知らせするための資料であり、生命保険契約の募集および投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご了承ください。
■ アクサ生命は、「運用環境の主な状況」などを信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。また、「運用実績・状況」に係る内容はいかなるものも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

（注）ユニット・リンク保険(有期型)、変額保険（終身型）/変額保険（有期型）は現在販売しておりません。

本商品は、アクサ生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金ではありません。そのため、預金とは異なり元本保証はありません。本商品のリスクや費用については本資料巻末に記載していますので、必ずご確認ください。また、本商品のご検討にあたっては、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」をご覧ください。

特別勘定の種類

特別勘定名	運用方針
日本株式型	主に日本企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 東証株価指数（TOPIX※1）を上回る投資成果を目指します。
日本株式 積極運用型	主に日本の成長企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 東証株価指数（TOPIX）を上回る投資成果を目指します。
米国株式型	主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 S＆P500指数※2を上回る投資成果を目指します。
欧州株式型	主に欧州企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 MSCIヨーロッパ指数※3を上回る投資成果を目指します。
世界株式型 （為替ヘッジなし）	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジは行いません。 MSCI KOKUSAIインデックス※4を上回る投資成果を目指します。
世界株式型 （為替ヘッジあり）	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 原則として、為替ヘッジを行います。 MSCI KOKUSAIインデックス（円ヘッジ）を上回る投資成果を目指します。
世界債券型	主に内外の公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内公社債50%、海外公社債50%とします。 海外公社債の投資部分に対し、原則として、為替ヘッジは行いません。 NOMURA－BPI（総合）※5 50%、FTSE世界国債インデックス（除く日本）※6 50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。
金融市場型＊1	主に国内の公社債および短期金融商品に分散投資することによって、中長期的に安定した投資成果を目指します。 NOMURA－BPI（総合短期）※7を上回る投資成果を目指します。
グローバル・ バランス型＊2	主に世界各国の株式および公社債に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。基本的に為替ヘッジは行いません。 ただし、市況動向等を勘案して、為替ヘッジを行うことがあります。 MSCI WORLDインデックス※8 50%、FTSE世界国債インデックス※9 50%で加重平均した複合指数を上回る投資成果を目指します。

※1）東証株価指数（TOPIX）とは、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出し公表する、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。

※2）S＆P500指数とは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス社が提供する米国株式市場の主要な500銘柄を対象に時価総額加重方式で計算した株価指数です。

※3）MSCIヨーロッパ指数とは、MSCIインクが提供する欧州株式を包括的に表した指数です。

※4）MSCI KOKUSAIインデックスとは、MSCIインクが提供する指数で、日本を除く主要各国の株式を包括的に表した指数です。

※5）NOMURA-BPI総合(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合)は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表する、わが国の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。

※6）FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※7）NOMURA-BPI総合短期は、残存期間1年～3年の短期の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益指数です。

※8）MSCI WORLDインデックスとは、MSCIインクが提供する指数で、日本を含む主要各国の株式を包括的に表した指数です。

※9）FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

＊1「金融市場型」は株価、債券価格、為替等の変動の影響を受ける可能性が低いことを想定した特別勘定です。ただし、低金利環境下（マイナス金利を含む）では、「金融市場型」の積立金の増加が期待できないだけでなく、諸費用の控除等により積立金が減少することもありますのでご注意ください。

＊2 アクサ・グローバル・エクイティ・セレクションおよびセレクション・ジャパン・エクイティを組み合わせMSCI WORLDインデックスを上回る投資成果を目指します。

運用環境の主な状況

（2026年8月末現在）

■ 日本株式市場

TOPIX（東証株価指数）は前月末比+3.82%の4,156.29ポイントとなりました。８月の日本株式市場は、経済指標の弱さなどを背景に米国の早期利上げ観測が後退したことや、米国とイランの対話進展期待などから、AI（人工知能）・半導体関連株を中心に、月半ばまで上昇基調となりました。その後、金融政策を巡る不透明感や米ハイテク株の調整等を背景に利益確定売りが優勢となる場面がみられましたが、国内企業の堅調な業績や銀行・内需関連株への資金流入が相場を下支えし、TOPIXは上昇して月末を迎えました。

日本小型株式市場は上昇しました。

■ 外国株式市場

米国株式市場では、NYダウ工業株30種が前月末比+1.34%の53,185.90ドルとなりました。８月の米国株式市場は、主要企業の堅調な四半期決算や米国経済の底堅さを背景に上昇しました。一方で、長期金利の上昇や中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格上昇が投資家心理の重荷となり、月末には利益確定売りが優勢となる場面もみられましたが、AI関連を含むテクノロジー企業の業績拡大期待が相場を支え、NYダウ工業株30種、S&P500、ナスダック総合の３指数とも堅調に推移しました。

欧州株式市場では、独DAX指数が前月末+2.45%、仏CAC40指数が前月末比−2.06%となりました。８月の欧州株式市場は、企業業績の改善や景気回復期待などを背景に底堅く推移しました。一方で、中東情勢の悪化に伴うエネルギー価格上昇や金利上昇への警戒感が相場の重石となり、国によってまちまちな値動きとなりました。

新興国株式市場は上昇しました。先進国リート市場は下落しました。

■ 日本債券市場

10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には2.957%となりました（前月末2.805%）。８月の日本債券市場は、日銀による金融政策の正常化が継続するとの見方に加え、国内物価の底堅い推移や賃金上昇を背景とした追加利上げ観測等から、長期金利が上昇する展開となりました。また、米国の長期金利上昇や中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格上昇がインフレ懸念を高め、日本国債の売り圧力につながり金利は上昇しました。

■ 外国債券市場

米国債券市場では、米10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には4.750%となりました（前月末4.735%）。８月の米国債券市場は、弱い経済指標の発表を受けFRB（連邦準備制度理事会）による早期利上げ観測が後退し、金利は月央にかけ低下基調となりました。また、米財務省が長期債の買い戻し枠を拡大する方針を示したことで金利の低下に拍車をかける場面も見られました。しかし、その後は中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の上昇や根強いインフレ懸念等を背景に長期金利は高止まりとなる中、月末近くにウォーシュFRB議長がインフレ懸念を表明したこともあり、月間で金利は上昇となりました。

米国ハイ・イールド債券市場は価格が上昇しました。

欧州債券市場では、独10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には3.324%となりました（前月末3.206%）。８月の欧州債券市場は、エネルギー価格上昇に伴うインフレ懸念や米国金利の上昇などを受けて、長期金利は上昇する展開となりました。

■ 外国為替市場

米ドル/円相場は前月末比−0.70円の160.02円となりました。８月の米ドル/円相場は、米国の長期金利が高水準で推移したことや、FRBによる早期利上げ観測が懸念される中、月中は円安・米ドル高基調で推移しました。しかし月末にかけては、日銀の追加利上げ観測や円安是正への警戒感が高まり、円を買い戻す動きが優勢となったことから、月間では小幅な円高・米ドル安となりました。

ユーロ/円相場は前月末比+0.38円の185.50円となりました。８月のユーロ/円相場は、欧州の景気見通し改善やインフレの根強さなどを背景に、ECB（欧州中央銀行）の金融政策が引き締め的に維持されるとの見方からユーロ買いが優勢となり、月間では対円で小幅上昇となりました。

※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

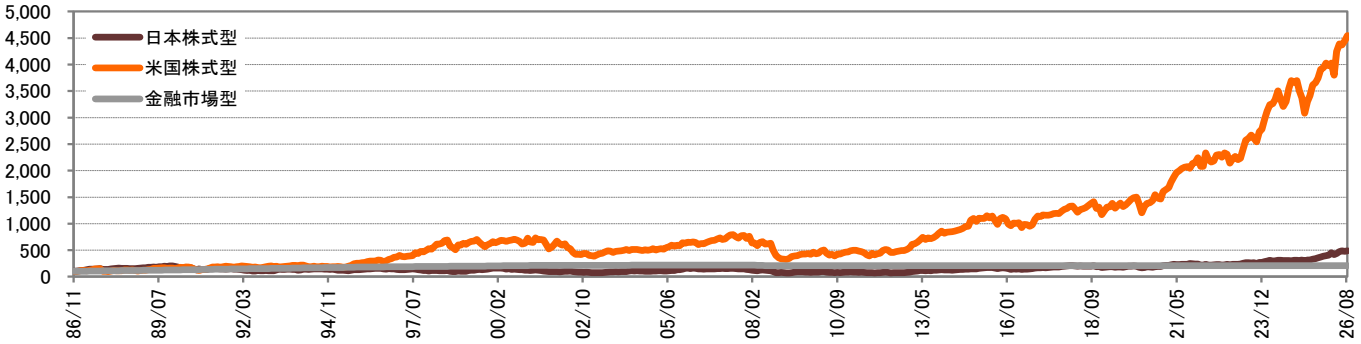
特別勘定の運用実績・状況

(2026年8月末現在)

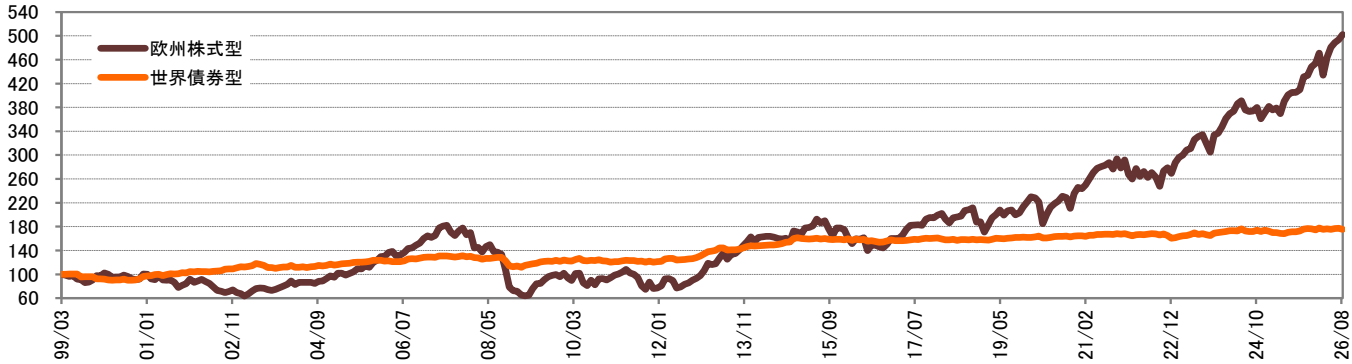
■ 特別勘定のユニット・プライスの推移

※特別勘定のユニット・プライスは特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

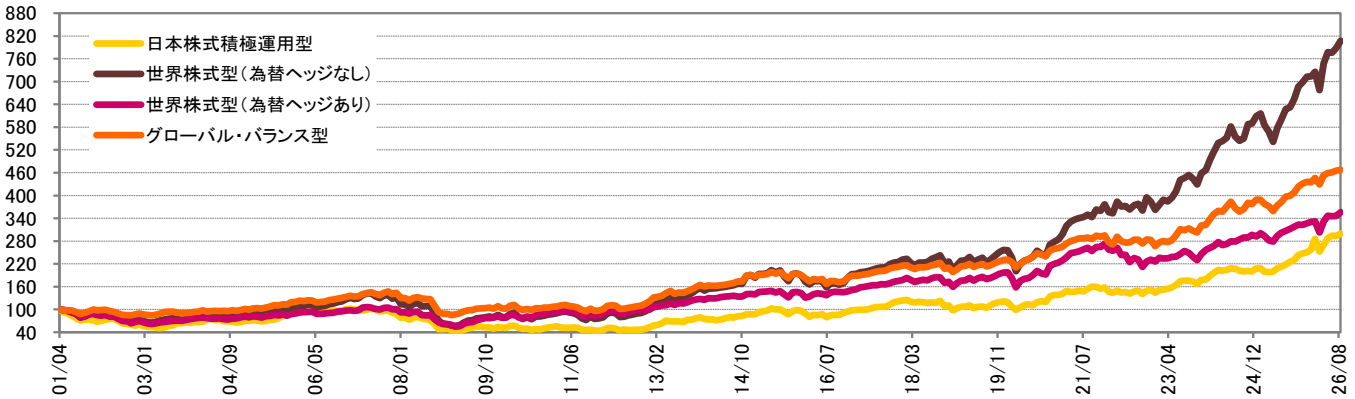
日本株式型／米国株式型／金融市場型



欧州株式型／世界債券型



日本株式積極運用型／世界株式型（為替ヘッジなし）／世界株式型（為替ヘッジあり）／グローバル・バランス型



特別勘定名	特別勘定設定日	ユニット・プライス 2026年8月末	騰落率（%）						
			1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
日本株式型	1986/12/1	489.07	2.33%	3.49%	8.51%	42.72%	87.40%	109.88%	389.07%
日本株式積極運用型	2001/5/1	300.29	2.47%	4.27%	5.00%	33.34%	71.12%	94.98%	200.29%
米国株式型	1986/12/1	4,548.29	2.38%	3.67%	12.98%	24.40%	70.44%	119.00%	4448.29%
欧州株式型	1999/4/1	502.05	1.70%	4.36%	6.60%	23.98%	50.27%	74.83%	402.05%
世界株式型（為替ヘッジなし）	2001/5/1	807.32	2.42%	3.79%	11.20%	27.75%	77.89%	131.00%	707.32%
世界株式型（為替ヘッジあり）	2001/5/1	356.24	2.90%	2.72%	7.39%	14.14%	43.19%	35.69%	256.24%
世界債券型	1999/4/1	175.49	△0.96%	0.11%	△1.31%	2.55%	4.37%	4.92%	75.49%
金融市場型	1986/12/1	207.68	0.03%	0.06%	0.09%	0.14%	△0.03%	△0.36%	107.68%
グローバル・バランス型	2001/5/1	467.20	0.44%	1.80%	4.65%	16.89%	49.14%	61.66%	367.20%

※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として指数化したものです。
※騰落率は、当月末における、上記各期間のユニット・プライスの変動率を表しています。

※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定の運用実績・状況

(2026年8月末現在)

■ 特別勘定資産の内訳　千円単位

	日本株式型		日本株式積極運用型		米国株式型	
	金額	%	金額	%	金額	%
現預金・その他	2,108,463	4.1	215,151	4.2	2,507,996	4.4
その他有価証券	49,627,871	95.9	4,905,712	95.8	54,502,936	95.6
合計	51,736,334	100.0	5,120,862	100.0	57,010,932	100.0

	欧州株式型		世界株式型（為替ヘッジなし）		世界株式型（為替ヘッジあり）	
	金額	%	金額	%	金額	%
現預金・その他	341,065	4.3	532,495	4.9	76,122	4.0
その他有価証券	7,561,283	95.7	10,393,159	95.1	1,818,276	96.0
合計	7,902,348	100.0	10,925,655	100.0	1,894,398	100.0

	世界債券型		金融市場型		グローバル・バランス型	
	金額	%	金額	%	金額	%
現預金・その他	384,981	4.3	296,798	5.9	2,376,399	4.4
その他有価証券	8,554,962	95.7	4,756,744	94.1	52,007,894	95.6
合計	8,939,943	100.0	5,053,542	100.0	54,384,292	100.0

※各特別勘定で利用している国内投資信託並びに外国投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

特別勘定資産の内訳

(2026年8月末現在)

日本株式型

銘柄		投資比率(%)	基本資産配分(%)
現預金・その他		4.1	―
日本株式	セレクション・ジャパン・エクイティ	95.9	100.0

日本株式積極運用型

銘柄		投資比率(%)	基本資産配分(%)
現預金・その他		4.2	―
日本株式	フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3(適格機関投資家専用)	38.4	100.0
	ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド(適格機関投資家専用)	57.4	

米国株式型

銘柄		投資比率(%)	基本資産配分(%)
現預金・その他		4.4	―
米国株式	セレクション・US・エクイティ	95.6	100.0

欧州株式型

銘柄		投資比率(%)	基本資産配分(%)
現預金・その他		4.3	―
欧州株式	RICII Russell Investments Pan European Equity Fund Class B	67.2	100.0
	フィデリティ・欧州株・ファンド(適格機関投資家専用)	28.5	

世界株式型(為替ヘッジなし)

銘柄		投資比率(%)	基本資産配分(%)
現預金・その他		4.9	―
世界株式	アクサ・グローバル・エクイティ・セレクション	95.1	100.0

世界株式型(為替ヘッジあり)

銘柄		投資比率(%)	基本資産配分(%)
現預金・その他		4.0	―
世界株式	ラッセル・インベストメント外国株式ファンドI-4A(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)	57.5	100.0
	インデックスファンド海外株式(ヘッジあり)	38.4	

世界債券型

銘柄		投資比率(%)	基本資産配分(%)
現預金・その他		4.3	―
国内公社債	ラッセル・インベストメント日本債券ファンドI-1(適格機関投資家限定)	42.0	50.0
海外公社債	アクサ・グローバル・ボンド	53.7	50.0

金融市場型

銘柄		投資比率(%)	基本資産配分(%)
現預金・その他		5.9	―
投資信託	フィデリティ・マネー・プールVA(適格機関投資家専用)	94.1	100.0

グローバル・バランス型

銘柄		投資比率(%)	基本資産配分(%)
現預金・その他		4.4	―
国内外株式	セレクション・ジャパン・エクイティ	2.5	50.0
	アクサ・グローバル・エクイティ・セレクション	46.6	
国内外公社債	アーキタス・ワールド・エックス・ジャパン・パッシブ・ボンド・ファンド	41.8	50.0
	アクサ・グローバル・ボンド	4.7	

※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2026年8月末現在)

セレクション・ジャパン・エクイティ
アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド

Selection Japan Equity Class I
Architas Multi-Manager Europe Limited

■ 投資信託の特徴

積極的な分散投資のポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。純資産価額の3分の2以上を、日本を本拠地とする、または日本の規制市場で上場、値付けもしくは取引されている株式に投資することにより、その目的を達成することを目指します。（委託会社は本ファンドの運用について野村アセットマネジメントを副投資マネージャーに任命しました。）
*当投資信託は、円建アイルランド籍外国投資信託です。

■ 純資産総額

1,794.00 億円

■ 設定日

2021年4月21日

■ ベンチマーク

なし

■ 基準価額騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	2.12	2.66	7.59	46.56	92.29	129.12

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）

■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数:　87

	銘柄	%
1	SUMITOMO MITSUI FINANCIAL GR	6.58
2	RECRUIT HOLDINGS CO LTD	4.23
3	SONY GROUP CORP	3.44
4	MITSUI & CO LTD	3.28
5	ADVANTEST CORP	3.25
6	SOMPO HOLDINGS INC	3.20
7	TOYOTA MOTOR CORP	2.88
8	TOKYO ELECTRON LTD	2.84
9	SUMITOMO ELECTRIC INDUSTRIES	2.57
10	ORIX CORP	2.33

■ 株式組入上位5業種（%）

1	資本財・サービス	25.10
2	金融	20.43
3	一般消費財・サービス	20.38
4	情報技術	17.53
5	素材	5.15

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　（2026年8月末現在）

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3（適格機関投資家専用）

フィデリティ投信株式会社

■ 投資信託の特徴

1. わが国の取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている株式を主要な投資対象とします。 2. 個別企業分析により、成長企業（市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される企業）を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行ないます。 3. 個別企業分析にあたっては、日本および世界の主要拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行ないます。 4. ポートフォリオ構築にあたっては、分散投資を基本としリスク分散を図ります。 5. 株式への投資は、原則として、高位を維持し、信託財産の総額の65%超を基本とします。 6.「ファミリーファンド方式」により運用を行ないます。 7. 日本の株式の代表的な株価指数であるTOPIX（配当込）をベンチマーク（運用目標）とし、長期的にベンチマークを上回る運用成果をあげることを目標とします。（ベンチマークとの連動を目指すものではありません。）

■ 純資産総額

2,232　億円

■ 設定日

2001年11月29日

■ 基準価額の推移

■ 基準価額・ベンチマーク（BM）騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	3.12	1.95	2.73	34.07	68.88	502.91
BM	3.85	5.17	6.77	38.28	91.24	536.24
差異	△ 0.73	△ 3.22	△ 4.04	△ 4.21	△ 22.36	△ 33.33

■ ベンチマーク

TOPIX（配当込）

＊TOPIX（配当込）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されており、配当を考慮したものです。
＊東証株価指数（TOPIX）（以下「TOPIX」という。）の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

※基準価額の騰落率は、収益分配金を再投資することにより算出された騰落率です。
※基準価額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。
　ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。
※基準価額は運用管理費用控除後のものです。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

（2026年07月31日現在）

■ 株式組入上位10銘柄　組入銘柄数 172

	銘柄	業種	%
1	三菱UFJﾌｨﾅﾝｼｬﾙ・ｸﾞﾙｰﾌﾟ	銀行業	5.2
2	みずほﾌｨﾅﾝｼｬﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ	銀行業	4.3
3	ﾘｸﾙｰﾄﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ	サービス業	3.2
4	村田製作所	電気機器	2.8
5	横浜ﾌｨﾅﾝｼｬﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ	銀行業	2.8
6	三菱電機	電気機器	2.7
7	日立製作所	電気機器	2.7
8	ｷｰｴﾝｽ	電気機器	2.5
9	三井物産	卸売業	2.4
10	ﾄﾖﾀ自動車	輸送用機器	2.3

※業種は東証33業種に準じて表示しています。
※未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。
※「株式組入上位10銘柄」、「組入上位5業種」、「市場別組入状況」、「資産別組入状況」はマザーファンド・ベース、対純資産総額比率の数値です。

■ 組入上位5業種

	業種	%
1	電気機器	22.2
2	銀行業	15.8
3	卸売業	7.9
4	機械	7.1
5	建設業	5.0

■ 資産別組入状況（%）

株式	99.0
新株予約権証券（ﾜﾗﾝﾄ）	-
投資信託・投資証券	-
現金・その他	1.0

■ 市場別組入状況

市場	%
東証プライム	98.1
東証スタンダード	0.7
東証グロース	0.1
その他市場	-

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨（有価証券の勧誘）を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

［ご参考　投資信託の運用実績・状況］　(2026年8月末現在)

ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド（適格機関投資家専用）

ピクテ・ジャパン株式会社

■ 投資信託の特徴

わが国の金融商品取引所(これに準ずるものを含みます。)に上場されている株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行います。組入銘柄の選択に当たっては、企業のファンダメンタルズ分析を重視し、成長性と株価を相対評価して行います。また、変革を実行できる企業と経営者に焦点を当てます。
ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド・マザーファンド受益証券」を主要投資対象とします。
なお、直接株式に投資を行う場合があります。

■ 純資産総額

29.41 億円

■ 設定日

2002年5月30日

■ 基準価額騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	2.24	6.20	6.89	35.79	79.90	502.29

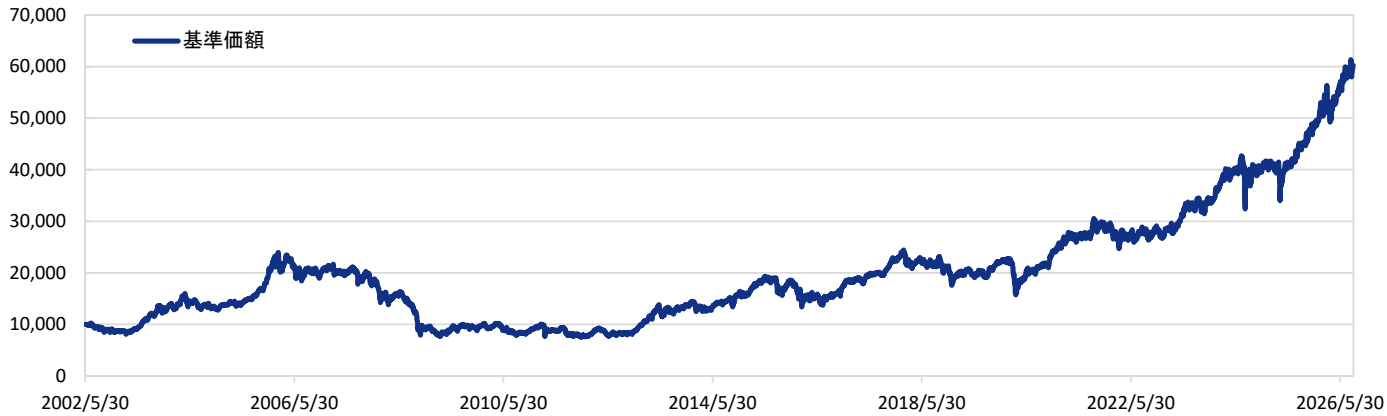
■ ベンチマーク

なし

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものとして計算しています。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：　64

	銘柄名	業種	%
1	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	5.81
2	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	4.51
3	日立製作所	電気機器	4.01
4	ソニーグループ	電気機器	3.80
5	トヨタ自動車	輸送用機器	3.25
6	リクルートホールディングス	サービス業	3.16
7	キーエンス	電気機器	2.84
8	三菱商事	卸売業	2.65
9	日本電気	電気機器	2.39
10	伊藤忠商事	卸売業	2.29

■市場別上位組入比率 (%)

1	プライム	99.29
2	--	--
3	--	--
4	--	--
5	--	--

■ 組入上位5業種 (%)

1	電気機器	25.13
2	銀行業	12.32
3	機械	8.85
4	卸売業	5.97
5	情報・通信業	5.69

※組入比率は実質比率（マザーファンドの組入比率×マザーファンドにおける当該資産の組入比率）です。株式への投資と同様な効果を有する証券がある場合、株式に含めています。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
　後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2026年8月末現在)

アクサ・グローバル・エクイティ・セレクション　AXA Global Equity Selection Class I

アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド　Architas Multi-Manager Europe Limited

■ 投資信託の特徴

純資産価額の3分の2以上を、主に先進国（日本除く）の規制された市場に籍を置く株式、上場株式、取引価格がある株式、または流通株式に投資することにより、分散を図ったポートフォリオのアクティブ運用による長期的な元本の増大を目的として運用を行います。中長期でインデックスを超える運用成果を追求します。なお、原則として純資産価額の40%程度については同インデックスの動きに連動した投資成果をめざして運用を行います。（委託会社は本ファンドの運用についてJPモルガンアセットマネジメント(UK)リミテッドおよびDWSインターナショナルGmbHを副投資マネージャーに任命しました。）

■ 純資産総額

5,232.00 億円

■ 設定日

2024年8月7日

■ ベンチマーク

MSCIコクサイ・インデックス（円ベース・税引後配当込み）

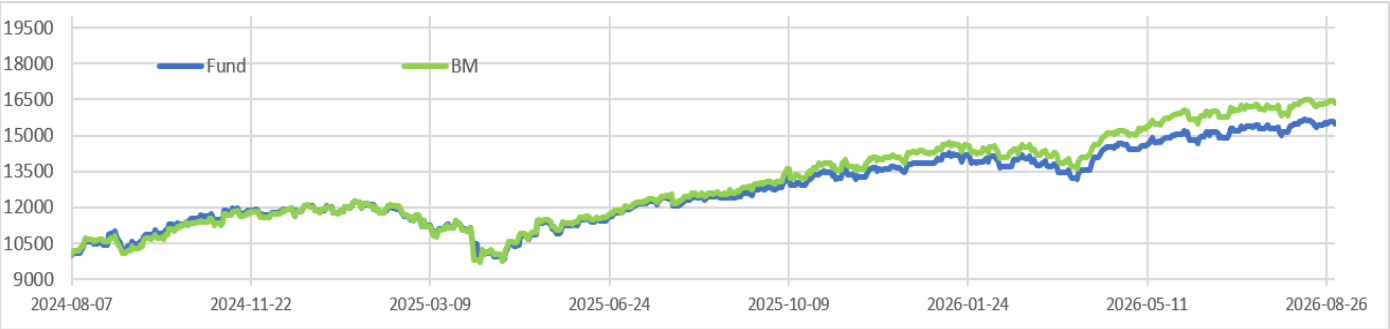
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	2.29	2.70	10.23	25.00	-	54.81
BM	2.83	2.58	12.69	30.45	-	63.52
差異	△0.54	0.11	△2.46	△5.45	-	△8.71

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的所有権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：1,116

	銘柄	国名	業種	%
1	NVIDIA CORP	アメリカ	情報技術	7.38
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	5.64
3	APPLE INC	アメリカ	情報技術	4.33
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	4.20
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.37
6	MASTERCARD INC - A	アメリカ	金融	2.11
7	ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	2.02
8	BROADCOM INC	アメリカ	情報技術	1.85
9	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	ヘルスケア	1.85
10	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	1.72

■ 株式組入上位5カ国(%)

1	アメリカ	74.52
2	イギリス	4.23
3	フランス	2.85
4	オランダ	2.61
5	ドイツ	1.89

■ 株式組入上位5業種(%)

1	情報技術	32.59
2	金融	15.97
3	一般消費財・サービス	11.99
4	ヘルスケア	9.09
5	資本財・サービス	8.61

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5ヵ国」「株式組入上位5業種」はマスターファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　投資信託の運用実績・状況］　(2026年8月末現在)

ラッセル・インベストメント外国株式ファンドI-4A(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)

ラッセル・インベストメント株式会社

■ 投資信託の特徴

日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI(配当込み、円ヘッジ・円ベース))を上回ることを目標として運用を行います。
グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。
原則として為替ヘッジを行います。
ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」を主要投資対象とします。

■ 純資産総額

10.90 億円

■ 設定日

2003年11月18日

■ ベンチマーク

MSCI KOKUSAI(配当込み、円ヘッジ・円ベース)

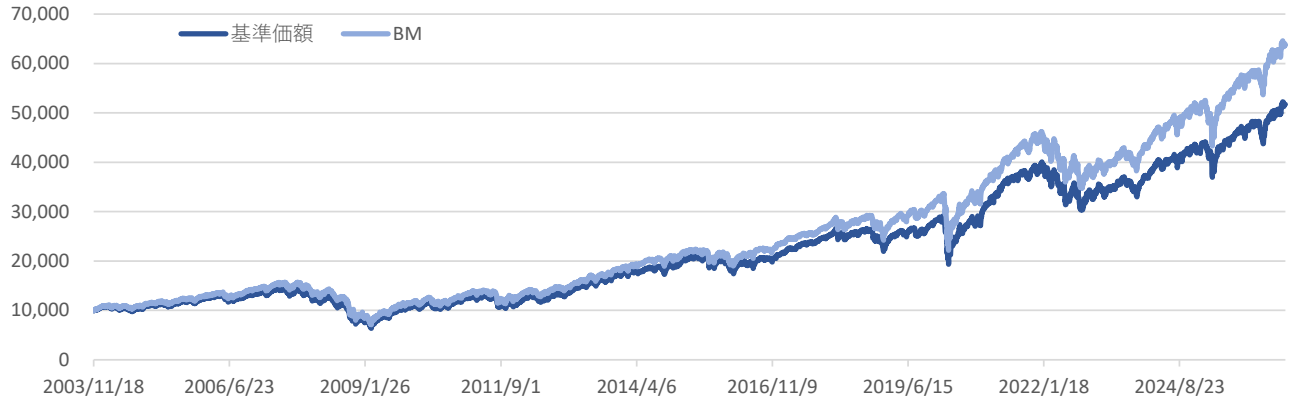
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	3.12	3.32	7.14	14.58	42.84	417.58
BM	2.14	1.85	9.21	16.87	51.81	536.59
差異	0.98	1.47	△ 2.07	△ 2.29	△ 8.97	△ 119.01

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものとして計算しています。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄 (%)

銘柄	通貨	比率①
Microsoft Corp.	USD	3.6
NVIDIA Corp.	USD	2.7
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd. (ADR)	USD	2.7
Amazon.com, Inc.	USD	2.6
Apple Inc.	USD	2.3
ALPHABET INC-CL A	USD	2.0
Meta Platforms, Inc. Class A	USD	1.9
ASML HOLDING NV	EUR	1.9
MasterCard Inc.	USD	1.7
Taiwan Semiconductor Manufacturing	TWD	1.6

①比率は株式評価額合計に占める割合
②数%程度のキャッシュ・エクイタイゼーション(流動資金の株式化)部分等を除きます。
*当該運用会社の投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ・エル・エル・シー(RIIS)が運用の指図を行います。

■ 地域別構成比率 (%)

地域	比率
北米地域	76.3
ユーロ地域	10.1
ユーロ除く欧州	6.6
その他	7.0

■ 外部委託運用会社 (%)

運用会社	運用スタイル	目標配分②
パインストーン[投資助言]*	グロース型	14.5
モルガン・スタンレー[投資助言]*	グロース型	12.5
サンダース[投資助言]*	バリュー型	16.5
プジーナ[投資助言]*	バリュー型	16.5
ニューメリック[投資助言]*	マーケット・オリエンテッド型	18.0
RIIS	ポートフォリオ特性補強型	22.0

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
　後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　投資信託の運用実績・状況］　(2026年8月末現在)

インデックスファンド海外株式（ヘッジあり）

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

世界の主要国の株式市場の動きをとらえることを目標に、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ないます。

■ 純資産総額

21 億円

■ 設定日

2001年10月17日

■ ベンチマーク

MSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジあり・円ベース）

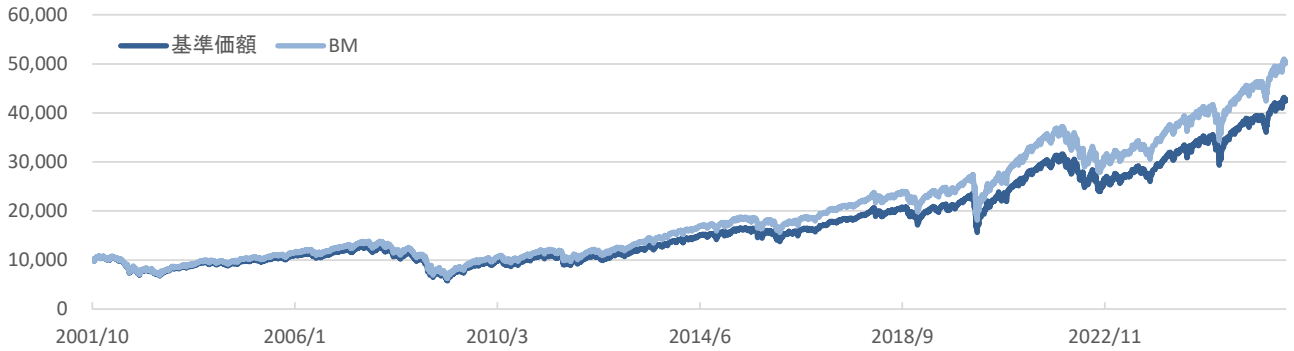
■ 基準価額・ベンチマーク（BM）騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	2.86	2.15	8.62	15.25	49.49	326.82
BM	3.00	2.45	9.07	16.22	50.32	404.21
差異	△ 0.14	△ 0.30	△ 0.45	△ 0.97	△ 0.83	△ 77.39

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。
※MSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジあり・円ベース）に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前営業日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：　1,074

	銘柄	国名	%
1	NVIDIA CORP	アメリカ	5.65
2	APPLE INC	アメリカ	5.28
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	4.08
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	2.90
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	2.27
6	BROADCOM INC	アメリカ	1.87
7	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	1.79
8	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	1.43
9	MICRON TECHNOLOGY INC	アメリカ	1.18
10	TESLA INC	アメリカ	1.10

■ 株式組入上位5ヶ国（%）

	国名	%
1	アメリカ	75.04
2	カナダ	3.63
3	イギリス	3.45
4	スイス	2.61
5	ドイツ	2.27

■ 株式組入上位5業種（%）

	業種	%
1	半導体・半導体製造装置	13.42
2	ソフトウェア・サービス	8.37
3	テクノロジー・ハードウェア	7.89
4	資本財	7.78
5	銀行	6.98

■ 為替ヘッジ

為替ヘッジ比率	99.89%

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
　後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　投資信託の運用実績・状況］　(2026年8月末現在)

RICII Russell Investments Pan European Equity Fund Class B

Russell Investments Limited

■ 投資信託の特徴

欧州株式を主要投資対象とし、ベンチマーク（MSCI Europe Index (EUR)-Net ）を上回ることを目標として運用を行います。
複数の運用スタイルと運用会社を採用するとともに、国別配分やセクター配分、規模別配分はベンチマークから大きく乖離しないようにコントロールし、主に銘柄選択により超過収益の獲得を目指します。
当ファンドは、アイルランド国籍のユーロ建投資信託です。

■ 純資産総額

35.9 百万ユーロ

■ 設定日

2000年11月14日

■ ベンチマーク

MSCI Europe Index (EUR)-Net

2018 年 1 月 1 日より前のベンチマークはRussell Dev Europe Large Cap (EUR)、2011 年 4 月 1 日より前のベンチマークはMSCI Europe Index (EUR)-Net、2009 年 1 月 1 日より前のベンチマークはMSCI Europe Index (EUR)-Grossでした。

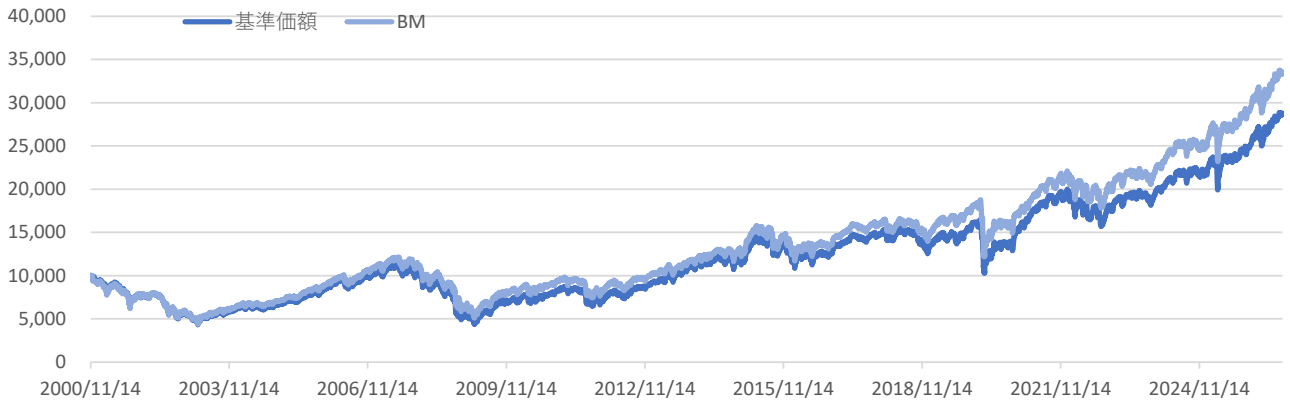
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.91	4.41	5.20	20.96	47.14	186.24
BM	0.46	4.50	4.69	21.26	52.58	232.95
差異	0.45	△0.09	0.51	△0.30	△5.44	△46.71

※騰落状況及び基準価額の推移はユーロ・ベースで計算しております。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）



■ 株式組入上位10銘柄

	銘柄	国	業種	%
1	ASML Holding NV	オランダ	情報技術	3.4
2	SHELL PLC	イギリス	エネルギー	2.2
3	Novartis AG	スイス	ヘルスケア	2.2
4	ROCHE HOLDING AG	スイス	ヘルスケア	1.9
5	Banco Santander SA (ADR)	スペイン	金融	1.9
6	TotalEnergies SE	フランス	エネルギー	1.7
7	UniCredit S.p.A.	イタリア	金融	1.5
8	Sanofi SA	フランス	ヘルスケア	1.5
9	ING Groep NV	オランダ	金融	1.5
10	Nestle SA	スイス	生活必需品	1.4

（前月末時点）

■ 外部委託運用会社

	運用会社	運用スタイル	%
1	Invesco	マーケット・オリエンテッド型	12.0
2	Liontrust	マーケット・オリエンテッド型	16.0
3	Numeric	マーケット・オリエンテッド型	35.0
4	Pzena	バリュー型	12.0
5	Russell Investments	ポジショニング戦略型	25.0

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　投資信託の運用実績・状況］　(2026年8月末現在)

フィデリティ・欧州株・ファンド（適格機関投資家専用）

フィデリティ投信株式会社

■ 投資信託の特徴

・英国および欧州大陸の取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている株式を主要な投資対象とします。
・株式の組入比率は、原則として高位を維持します。
・原則として、外貨建資産の為替ヘッジは行ないません。
・ファンドは「フィデリティ・欧州株・マザーファンド」を通じて投資を行ないます。

■ 純資産総額

22.5 億円

■ 設定日

2019年11月29日

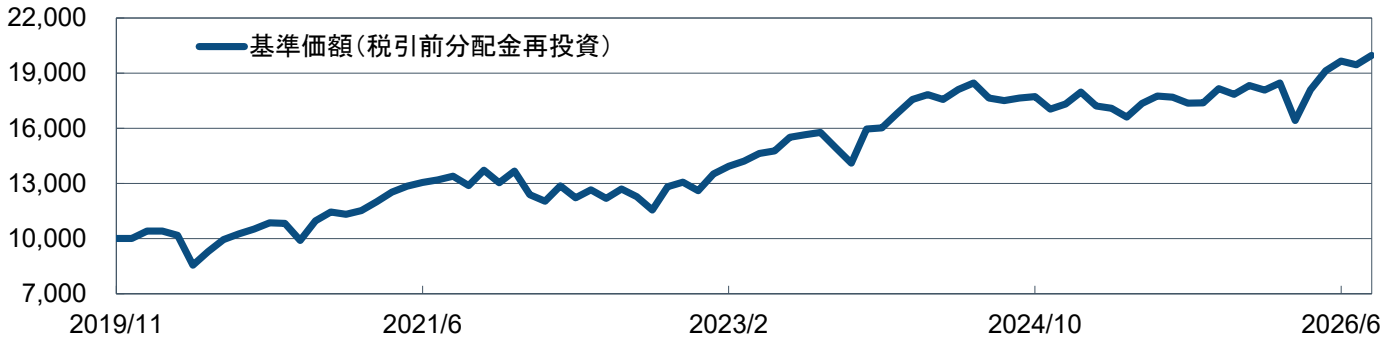
■ 基準価額騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	2.64	4.42	8.11	14.97	26.57	99.65

■ ベンチマーク

なし

■ 基準価額の推移



※基準価額の騰落率は、収益分配金を再投資することにより算出された騰落率です。
※基準価額（税引前分配金再投資）は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。
　ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
※基準価額は運用管理費用控除後のものです。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

(2026年7月末現在)

■ 株式組入上位10銘柄

組入銘柄数：　66

	銘柄名	国・地域名	業種	%
1	ＡＳＭＬホールディング	オランダ	情報技術	5.74
2	スタンダードチャータード	イギリス	金融	2.97
3	ＫＢＣグループ	ベルギー	金融	2.78
4	ＢＮＰパリバ	フランス	金融	2.68
5	ソシエテ・ジェネラル	フランス	金融	2.61
6	ベンディング・スプーンズ	アメリカ	情報技術	2.54
7	シーメンス	ドイツ	資本財・サービス	2.29
8	サフラン	フランス	資本財・サービス	2.20
9	エアバス	オランダ	資本財・サービス	2.12
10	ドイツ証券取引所	ドイツ	金融	2.10

※株式組入比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。
※国・地域は発行国・地域を表示しています。
※業種はMSCI/S&P GICS*のセクターに準じて表示しています。
*MSCI/S&P GICSとは、スタンダード＆プアーズがMSCI Inc.と共同で作成した世界産業分類基準（Global Industry Classification Standard =GICS）です。

■ 株式組入上位5ヶ国・地域

	国・地域名	%
1	イギリス	25.75
2	オランダ	15.47
3	フランス	11.52
4	ドイツ	10.62
5	スウェーデン	5.35

■ 組入上位5業種

	業種	%
1	資本財・サービス	29.05
2	金融	24.58
3	情報技術	18.63
4	ヘルスケア	10.91
5	一般消費財・サービス	7.66

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
　後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　投資信託の運用実績・状況］　(2026年8月末現在)

セレクション・US・エクイティ
アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド

Selection US Equity Class I
Architas Multi-Manager Europe Limited

■ 投資信託の特徴

当ファンドは、積極的な分散投資のポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。
その純資産価額の3分の2以上を、米国を本拠地とする、または米国の規制市場で上場、値付けもしくは取引されている株式に投資することにより、その目的を達成することを目指します。

■ 純資産総額

545.00 億円

■ 設定日

2021年1月6日

■ ベンチマーク

なし

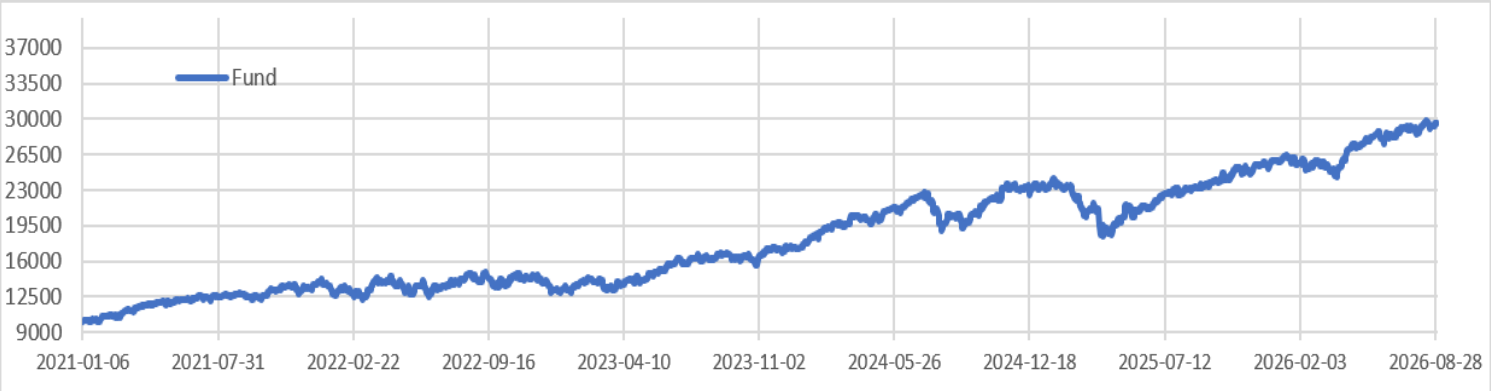
■ 基準価額騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	3.32	3.46	15.09	27.59	78.16	195.41

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数:　348

	銘柄	%
1	NVIDIA CORP	7.64
2	APPLE INC	6.80
3	MICROSOFT CORP	5.33
4	ALPHABET INC-CL A	4.60
5	AMAZON.COM INC	3.58
6	BROADCOM INC	2.56
7	ABBVIE INC	1.74
8	MICRON TECHNOLOGY INC	1.55
9	META PLATFORMS INC-CLASS A	1.38
10	GE VERNOVA INC	1.22

■ 株式組入上位5カ国（%）

1	UNITED STATES	96.10
2	IRELAND	1.53
3	BERMUDA	0.71
4	CANADA	0.27
5	BRITAIN	0.25

■ 株式組入上位5業種（%）

1	Information Technology	35.66
2	Financials	13.29
3	Health Care	10.17
4	Consumer Discretionary	9.38
5	Industrials	8.97

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　投資信託の運用実績・状況］　(2026年8月末現在)

ラッセル・インベストメント日本債券ファンドI-1（適格機関投資家限定）

ラッセル・インベストメント株式会社

■ 投資信託の特徴

日本の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク（NOMURA-BPI総合指数）を上回ることを目標として運用を行います。
複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。
ファミリー・ファンド方式で運用を行い、「ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド」を主要投資対象とします。

■ 純資産総額

88.31 億円

■ 設定日

2003年11月18日

■ ベンチマーク

NOMURA-BPI 総合指数

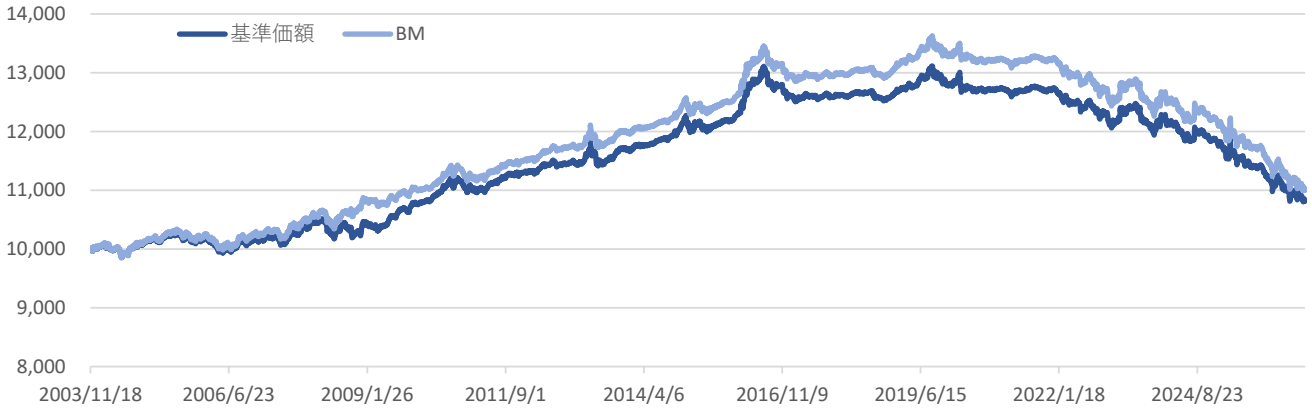
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 0.71	△ 1.12	△ 3.70	△ 5.31	△ 11.22	8.11
BM	△ 0.81	△ 1.39	△ 4.32	△ 6.36	△ 12.44	9.95
差異	0.10	0.27	0.62	1.05	1.22	△ 1.84

※騰落状況および基準価額は分配金を税引前で再投資したものとして計算しています。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）



■種別構成比（%）

国債	60.5
地方債	0.0
政保債	0.0
金融債	0.0
事業債	35.4
円建外債	4.1
MBS	0.0
ABS	0.0
その他	0.0

■外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分(%)
アセットマネジメントOne	広範囲型	50
PGIMジャパン	クレジット重視型	50

※比率はマザーファンドにおける対純資産総額比率をいいます。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
　後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　投資信託の運用実績・状況］　(2026年8月末現在)

アーキタス・ワールド・エックス・ジャパン・パッシブ・ボンド・ファンド

Architas World ex-Japan Passive Bond Fund Class J

アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド　Architas Multi-Manager Europe Limited

■ 投資信託の特徴

元本およびインカム収入の両方を考慮したトータルリターン（報酬および費用控除前）を投資家に提供することを目指します。ベンチマークに連動した運用成果を目指します。純資産価額の100%を上限として、日本を除く世界各国が発行する国債（政府機関債・地方債含む）に投資します。（委託会社は本ファンドの運用についてDWS Groupを副投資マネージャーに任命しました。）
*当投資信託は、円建アイルランド籍外国投資信託です。

■ 純資産総額

718.00 億円

■ 設定日

2021年3月24日

■ ベンチマーク

FTSE世界国債インデックス（除く日本）

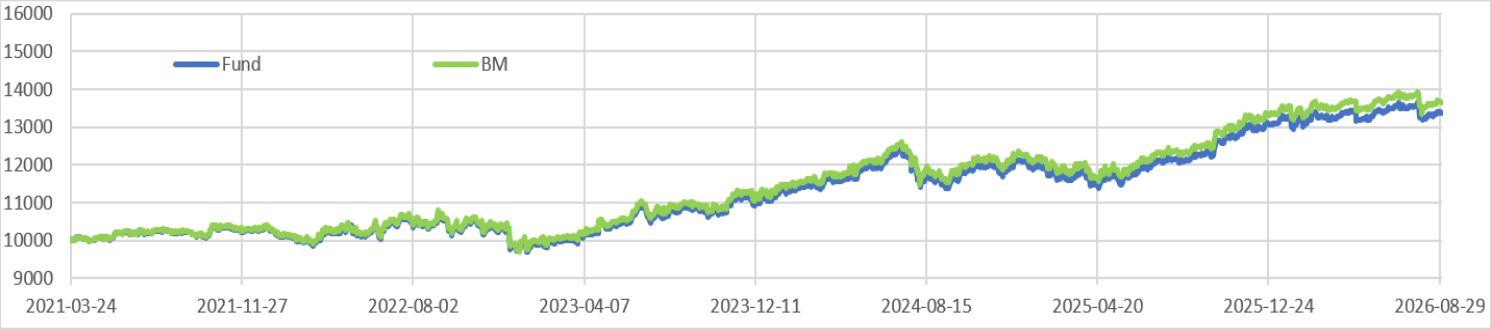
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.81	△0.55	△0.14	10.36	22.61	33.63
BM	0.81	△0.45	0.10	10.83	24.05	36.55
差異	0.00	△0.10	△0.24	△0.47	△1.45	△2.92

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※FTSE世界国債インデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）



■ 債券組入上位6銘柄

銘柄数:　1012

	銘柄	国名	%
1	US TREASURY N/B - 2.75%　15 Aug 2032	アメリカ	0.55
2	US TREASURY N/B - 4.25%　15 Aug 2035	アメリカ	0.45
3	US TREASURY N/B - 1.25%　15 Aug 2031	アメリカ	0.44
4	US TREASURY N/B - 1.375%　15 Nov 2031	アメリカ	0.44
5	US TREASURY N/B - 1.875%　15 Feb 2032	アメリカ	0.44
6	US TREASURY N/B - 2.75%　15 Feb 2028	アメリカ	0.44

■ 債券組入上位5カ国(%)

1	アメリカ	43.91
2	中国	12.78
3	フランス	6.90
4	イタリア	6.29
5	イギリス	5.70

■ 格付別構成比率(%)

AAA	7.34
AA	52.14
A	3.14
BBB	4.36
BB or Lower	0.00
Not Rated	31.67

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　投資信託の運用実績・状況］　(2026年8月末現在)

アクサ・グローバル・ボンド
アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド

AXA Global Bond Class I
Architas Multi-Manager Europe Limited

■ 投資信託の特徴

主として世界各国の投資適格債（BBB格以上）に分散投資を行うことで、キャピタルリターンとインカムリターンの両面から、中長期的なトータルリターンの提供を目指した運用を行います。（委託会社は本ファンドの運用についてコルチェスター・グローバル・インベスターズ・リミテッドを副投資マネージャーに任命しました。）
*当投資信託は、円建アイルランド籍外国投資信託です。

■ 純資産総額

695.00 億円

■ 設定日

2026年2月9日

■ ベンチマーク

FTSE世界国債インデックス（円ベース）

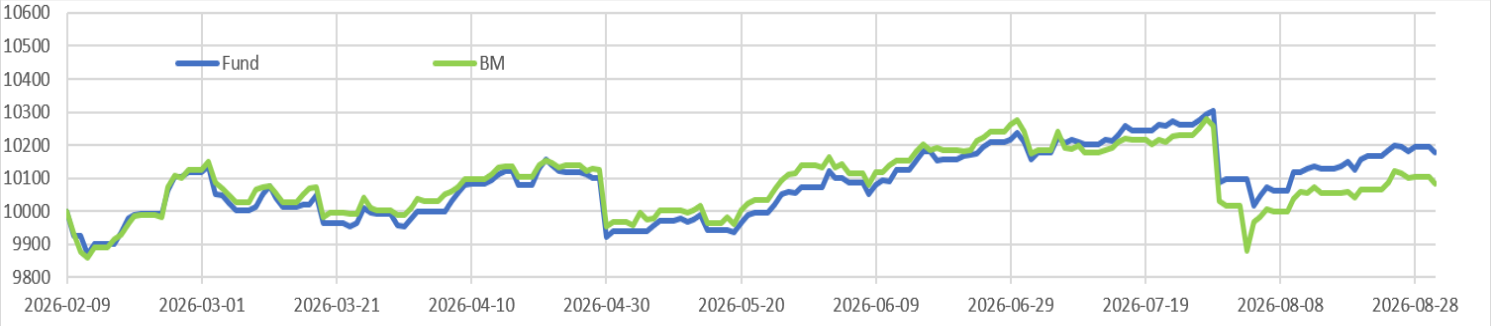
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.79	1.04	0.57	-	-	1.76
BM	0.66	△0.57	△0.43	-	-	0.83
差異	0.13	1.61	0.99	-	-	0.93

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※FTSE世界国債インデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 債券組入上位6銘柄

銘柄数:　90

	銘柄	国名	%
1	US TREASURY N/B - 4%　29 Feb 2028	アメリカ	3.81
2	US TREASURY N/B - 4.875% 31 Oct 2028	アメリカ	3.61
3	POLAND GOVERNMENT BOND - 2%　25 Aug 2036	ポーランド	3.37
4	US TREASURY N/B - 4.125%　31 Jul 2031	アメリカ	3.07
5	MEX BONOS DESARR FIX RT - 7.75%　23 Nov 2034	メキシコ	2.70
6	US TREASURY N/B - 4.125%　28 Feb 2027	アメリカ	2.66

■ 債券組入上位5カ国(%)

1	アメリカ	22.83
2	メキシコ	11.72
3	ニュージーランド	9.67
4	オーストラリア	7.46
5	インドネシア	6.76

■ 格付別構成比率(%)

AAA	25.88
AA	26.55
A	5.63
BBB	14.17
BB or Lower	0.00
Not Rated	25.37

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
　後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　（2026年8月末現在）

フィデリティ・マネー・プールVA（適格機関投資家専用）

フィデリティ投信株式会社

■ 投資信託の特徴

本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

■ 純資産総額

56 億円

■ 設定日

2002年9月20日

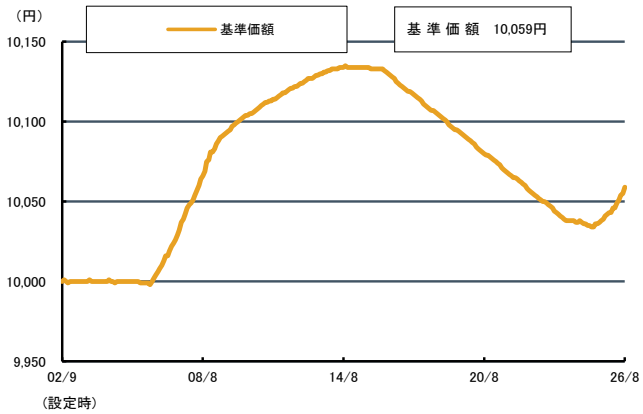
■ 基準価額騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.04	0.08	0.13	0.21	0.15	0.59

■ ベンチマーク

なし

■ 基準価額の推移



※基準価額の騰落率は、収益分配金を再投資することにより算出された騰落率です。
※基準価額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。
　ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
※当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

（2026年07月31日現在）

■ 組入上位10銘柄*

	銘柄	種類	格付	%
1	1395国庫短期証券 2026/10/19	債券	A	41.0
2	1385国庫短期証券 2026/09/07	債券	A	30.0
3	1381国庫短期証券 2026/08/17	債券	A	21.8
4	1389国庫短期証券 2026/09/24	債券	A	5.4
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
9	-	-	-	-
10	-	-	-	-

（組入銘柄数　：　4）　　上位10銘柄合計 98.2%

■ ポートフォリオの状況*

資産別組入状況（%）

債券	98.2
CP	-
CD	-
現金・その他	1.8

組入資産格付内訳（%）

長期債券格付	AAA/Aaa	-
	AA/Aa	-
	A	98.2
短期債券格付	A-1/P-1	-
	A-2/P-2	-
現金・その他		1.8

平均残存日数	51.80日
平均残存年数	0.14年

＊マザーファンドベース、対純資産総額比率
※格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。（「プラス／マイナス」の符号は省略しています。）なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨（有価証券の勧誘）を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

ご留意いただきたい事項

■当資料の目的
当資料は、アクサ生命が「変額保険（終身型）」（注）、「変額保険（有期型）」（注）、「ユニット・リンク保険（有期型）」（注）および「積立ユニット・リンク保険特約」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です。特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■生命保険です
「変額保険（終身型）」（注）、「変額保険（有期型）」（注）、「ユニット・リンク保険（有期型）」（注）および「積立ユニット・リンク保険特約」は生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有しているわけではありません。

■運用実績に応じて変動します
「変額保険（終身型）」（注）、「変額保険（有期型）」（注）、「ユニット・リンク保険（有期型）」（注）および「積立ユニット・リンク保険特約」は、保険金額や積立金額等が特別勘定資産の運用実績に基づいて変動（増減）する生命保険で、保険期間中保険金額が一定の生命保険である定額保険とは異なります。

■元本割れリスク、最低保証について
「変額保険（終身型）」（注）、「変額保険（有期型）」（注）、「ユニット・リンク保険（有期型）」（注）および「積立ユニット・リンク保険特約」は、特別勘定の運用実績に応じて、積立金、死亡・高度障害保険金、解約払戻金が変動（増減）する保険です。積立金、解約払戻金、満期保険金には最低保証はありませんので、払い込まれた保険料総額を下回ることもあります。ただし、死亡・高度障害保険金は基本保険金額と同額が保証されます。

■特別勘定資産と投資信託の運用実績について
特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり、投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用を控除していることなどによるものです。

■自己責任原則
特別勘定による資産運用は、経済情勢や運用のいかんによっては高い収益を期待できますが、一方で、株価の下落や金利や為替の変動による運用リスクをご契約者様ご自身が負うことになります。

■ユニットプライスとは
ユニットプライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

■ご検討・ご契約に際して
「変額保険（終身型）」（注）、「変額保険（有期型）」（注）、「ユニット・リンク保険（有期型）」（注）および「積立ユニット・リンク保険特約」の詳細については、当該商品のパンフレット、ご契約のしおり・約款、特別勘定のしおり等をご覧ください。なお、ご契約の保障内容については、すべて保険証券に記載されているとおりになりますのでお確かめください。

■将来の投資成果を保証するものではありません
当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

■特別勘定は、追加されることがあります
特別勘定は、追加されることがあります。また、特別勘定の運用方針および運用対象は将来変更されることがあります。

■ご契約にかかわる諸費用
この保険にかかる費用には、ご契約の締結・維持、死亡保障等にかかる費用および特別勘定の運用にかかる費用があります。お払込保険料からこれらの費用を差し引き、残りを運用対象額として特別勘定に繰り入れます。したがって、お払込保険料の全額が特別勘定で運用されるものではありません。
これらの費用は、性別・契約年齢・保険料払込期間・保険料払込方法等によって異なり、金額や割合を表示することができませんのでご了承ください。
これらの費用は、ご契約後、特別勘定資産からも定期的に控除されます。

（注）ユニット・リンク保険(有期型)、変額保険（終身型）/変額保険（有期型）は現在販売しておりません。